

6G に関する原則を支持する共同声明：
セキュア・オープン・レジリエント・バイ・デザイン

米国、オーストラリア、カナダ、チェコ、フィンランド、フランス、日本、韓国、スウェーデン及び英国の政府は、6G 無線通信システムの研究開発のためのこれらの共通の原則について一致し、我々が共働することによって、オープンで、自由で、グローバルで、相互運用可能な、信頼できる、強靱かつ安全な連結性を支持することができることを認識する。我々は、これが全ての人々にとってより包摂的で、持続可能で、安全で、平和な未来を構築するために不可欠な貢献であると信じ、他の政府、組織及びステークホルダーに対し、これらの原則を支持し、堅持するために我々とともに参加することを求める。6G の開発における喫緊の課題を解決するためには、連携と一体性が鍵であり、この目的のために関連政策を我々の国において採択し、第三国においてそのような政策の採択を奨励し、そして、以下の共通の原則を満たす 6G ネットワークの研究開発と標準化を進めることを意図していることをここに宣言する。

1. 信頼できる技術及び国家安全保障の保護

- より広範な安全で信頼できる通信エコシステムの一部として、安全で強靱な技術によって支えられ、参加政府やパートナーが国家安全保障を守る能力を促進する 6G 技術。

2. 安全性、強靱性、プライバシー保護

- 不可欠なサービスの利用可能性を確保することができるセキュリティ・バイ・デザイン等のアプローチや、安全に機能停止し迅速に回復するように設計されたシステムといった、技術標準、インターフェース、仕様の利用を通じたものを含むサイバーセキュリティへの体系的なアプローチを有する組織によって開発された 6G 技術。
- 信頼性があり、強靱で、安全で、個人のプライバシーを保護する 6G 技術。
- ネットワークの複雑性の増大や攻撃対象の拡大によってもたらされる潜在的なリスクの軽減を含む、通信ネットワーク上の高度なセキュリティを提供する 6G 技術及びアーキテクチャ。

3. グローバルな産業主導かつ包摂的な標準化及び国際連携

- オープンで、透明性があり、公平で、コンセンサスに基づく意思決定プロセスを通じて開発された、国際標準、インターフェース及び仕様に基づいた 6G 技術。

- 知的財産権を尊重し、持続可能性、アクセス性、包摂的参加、相互運用性、競争力、開放性及びセキュリティを促進する国際標準に基づいて構築された 6G 技術。
4. オープンで相互運用可能なイノベーションを可能にする協力
- 上記「グローバルな産業主導かつ包摂的な標準化及び国際連携」の原則に従った標準及びインターフェースを使用して、ソフトウェア及びハードウェアを含む異なるサプライヤーの製品間のシームレスな相互運用を可能とする 6G 技術。
 - オープン無線アクセスネットワークのような、オープンで、安全で、強靱で、包摂的かつ相互運用可能なネットワークや、安全で、強靱で、包摂的かつ持続可能な 6G エコシステムの促進に係る国際協力の重要性を認識した 6G 技術。
 - 共同研究、開発、テストから恩恵を受け、仮想化、ソフトウェア定義ネットワーク、人工知能等の革新的な技術を活用する 6G 技術。
5. 手頃な価格、持続可能性及びグローバル連結性
- エネルギー効率に優れた展開及び運用を可能にし、環境の持続可能性、機器の修理可能性及びリサイクル可能性、そして社会の持続可能性を支えるために必要な手頃な価格のいずれをも向上させる 6G 技術。
 - 標準化及び競争環境によって実現される規模の経済等のメカニズムを通じてアクセス可能で、デジタルデバイドを解消し、信頼性のあるカバレッジ及び体験の一貫した質を提供し、革新的なユースケースを可能にしながらも、可能な限りサービスレベルの格差を最小化する 6G 技術。
 - デジタルトランスフォーメーションを推進することにより、他業界や他セクターの環境負荷低減に貢献する 6G 技術。
 - 開発途上国で広く利用可能かつアクセス可能な 6G 技術。
 - 衛星や高高度プラットフォーム（HAPS）等の非地上系ネットワーク（NTN）を活用した 6G 技術。
6. 周波数及び製造
- 安全で強靱なサプライチェーンを有する 6G 技術。
 - ICT バリューチェーンに沿い、また、計算連結連続体の全ての要素において、複数のソフトウェア及びハードウェアのサプライヤーによって、国際競争力のある市場を促進する 6G 技術。
 - 新たな周波数帯の割当てや、既に無線業務に割当てられている周波数帯を活用できる 6G 技術。
 - 既存のサービス事業者と共存するために、周波数を効率的に利用し、あらかじめ周波数共用メカニズムを組み込んだ 6G 技術。